

ソフトボール競技要綱

【日時】

2023年 11月18日（土）
11月19日（日）

雨天時について

当日もしくは前日が雨天の場合はグラウンド状況により試合を中止することがある。
中止の場合は当日の朝、または天候が悪化し次第、Teamsを通じて連絡をする。

【会場】

野球場、多目的グラウンド

【部門】

男子部門

〈出場規準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・硬式野球部は1チーム1人、準硬式野球部、男子ソフトボール部、女子ソフトボール部、医学準硬式野球部の部員は1チーム2人まで登録可。
- ・女子の登録可。但し、ハンディキャップはなし。

混合部門

〈出場規準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・硬式野球部は1チーム1人、準硬式野球部、男子ソフトボール部、女子ソフトボール部、医学準硬式野球部の部員は1チーム2人まで登録可。
- ・女子3人以上を登録しなければならない。

※いずれかの部門登録チームが極端に少ない場合は部門を統廃合することがある。

※同一種目内で1人が複数のチームに所属することは禁止。

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・準々決勝までは試合規定回数を5イニング、試合規定時間を45分とし、準決勝以降は試合規定回数を7イニング、試合規定時間を60分とする。
- ※参加チーム数によって試合時間は変更する場合がある。
- ・試合規定回数に達しないうちに試合規定時間の45分を過ぎると思われる場合は審判の判断により、新しいイニングには入らないものとする。勝敗は試合終了時点での得点で決める。
- ・同点の場合はタイブレークで勝敗を決める。タイブレークで2イニング行っても同点の場合は、代表者によるジャンケンで勝敗を決定する。
- ※タイブレーク：イニングの最初から2アウト満塁で始めること。
- ・準決勝以降を除き、3イニングで15点差、4イニング以降で10点差がついた場合はコールドゲームとする。

リーグ形式

- ・試合規定回数を7イニングとし、試合規定時間を45分とする。
- ・試合規定回数に達しないうちに試合規定時間の50分を過ぎると思われる場合は審判の判断により、新しいイニングには入らないものとする。勝敗は試合終了時点での得点で

決める。

- ・3 イニングで 15 点差、4 イニング以降で 10 点差がついた場合はコールドゲームとする。
- ・勝利チームに 3 点、同点の場合は両チームに 1 点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点と同じ場合は当該チーム間の勝敗、得失点差、総得点の順で順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。

【ルール】

- ・原則として、日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールに準ずる。
- ・試合規定人数は 1 チーム 9 人。（交代要員は 9 人まで登録可。）
- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合、ペナルティを課す。
- ・試合開始最低人数は 1 チーム 7 人。
- ・交代は自由だが、打順の変更はできない。一度出場した打者は打順が一巡するまで出場できない。

投手

- ・投手は原則スローピッチルールの従うこととする。
- ※スローピッチルール：投球は「地面から 1.5 m 以上 3 m 以下の空間」にアーチを描くようにすること。そうでない場合は不正投球としてボールとする。
- ・ウインドミル投法は両チーム承諾した場合のみ可能とする。
- ・投球距離は 12 m とする。

打者

- ・バント、振り逃げはなし。バントはストライクとしてカウントする。
- ・フォアボール、デッドボールは進塁とする。
- ・混合部門の女子を除き、2 ストライク後のファールはアウトとしてカウントする。

走者

- ・盗塁は禁止。
- ・タッチアップルールを適用。
- ※タッチアップ...ノーアウトかワンアウトの場合、打者がフライまたはライナーを打ち、野手がノーバウンドで捕球した際、走者は一度帰塁しなければ次の塁に進めない。
- ・捕手後逸、投手の暴投による進塁は禁止。
- ・打者がボールを打つまでベースを離れることは禁止。
- ・一塁等への悪送球による進塁はワンベースまでとする。（各会場にワンベースラインを引き、それを越えた場合はワンベースとし、それ以外はボールインプレーとする。）
- ・スライディングは禁止。

守備

- ・球場の広さは無制限。（ワンベースラインは例外とする。）
- ・インフィールドフライのルールは適用する。
- ※インフィールドフライ...ノーアウトかワンアウトで、ランナーが 1、2 塁か満塁のとき、打者が打ち上げたフェアの飛球であって、審判が「内野手が普通の守備行為を行えば捕球できる」と判断した場合、内野手が捕球できていなくても打者がアウトとなる。
- ・捕手はキャッチャーマスクをつける。

《混合部門における特別ルール》

- ・女子3人以上が常に試合に出場していなければならない。
- ・混合部門において、男子の人数は試合開始時より増やすことはできない。
- ・試合開始時における出場選手のうち、女子の人数が多いチームに（女子の人数差）× 1 を与える。（上限は 5 点とする。ただしペナルティは含まない。）
- ・女子が打席に入ったとき、次のようにする。
本塁、一塁間の距離は 15 m とする。（その地点に女子用ベースを置く。）

女子用ベースでセーフとなった場合は試合の止まった時点で本来の一塁に移動する。直接二塁を狙う場合は女子用ベースから最短距離で進むことができる。

打者走者のアウト判定は女子用ベースで、他の走者のアウト判定は本来のベースで行う。

- ・男子が4人続けて打席に入ってはいけない。
- ・男子が打った打球を外野で女子がキャッチする場合はワンバウンドで捕ってもアウトとする。但し、ファールの場合はこれに該当しない。

※ワンバウンドした時点で走者にとってはヒット扱いとなるので、ヒット時と同様に進塁してもかまわない。但し、2アウト時はノーバウンドキャッチと同じ扱いとし、得点は入らない。

【遅刻チームへの対応】

※人数が7人未満の場合

- ・試合開始時間から5分以内に7人以上となり、試合規定人数を満たした場合...通常通り試合開始。
- ・試合開始時間から5分を超えた時点で7人で、試合開始最低人数を満たすが試合規定人数を満たさない場合...ペナルティを与えて試合開始
(7人で試合を始めた場合、当該チームはその試合を通して7人で戦わなければならない。ただし、遅れてきた選手も含め選手交代は可能。)
- ・試合開始時間から5分を超えた時点で7人未満で、試合開始最低人数を満たさない場合当該チームは不戦敗。

ペナルティ

- ・試合開始後に出場人数を増やすことはできない。
- ・遅刻者がいる場合は、遅刻者がいない方のチームに先攻・後攻の選択権を与える。

【審判】

男子ソフトボール部

女子ソフトボール部

スポーツ・デー学生委員

【注意事項】

- ・選手本人が登録されていないチームで参加することは禁止とする。
- ・不正出場があったチームは失格とする。
- ・会場内では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・当日に練習等でボールを使用したい場合は、各会場の受付で貸し出しを行うが、会場内での使用に限る。
- ・当日に会場外で練習等をした場合は、各自準備したボールを使用すること。
- ※バットの使用、10mを超える長距離のキャッチボール等危険が予想される練習は禁止。
- ・グローブは貸し出しを行うが、数に限りがあるため極力各自で用意すること。
- ・遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可。
- ・スパイクシューズの着用は禁止とする。
- ・会場内での食事、喫煙は禁止とする。
- ・審判の指示に従わなかった場合は何らかの措置をとることがある。